



野庭すずかけ小だより

4月号

横浜市立野庭すずかけ小学校
2019(平成 31)年4月5日
TEL 842-3105

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nobasuzukake/>

学校目標の具現化にむけて

校長

桜の花が、進級そして入学する子どもたちを待っていたかのように咲き誇り、温かく迎えています。新学年となった子どもたちは元気よく登校しました。

お子様のご入学、ご進級、おめでとうございます。

運動場の歩道橋門側に体育の学習に使う「投てき板」があります。コンクリートでできた大きな壁です。この壁に向かってボールを投げて的にあてる楽しさを味わったり、ボールを蹴って当てたりする学習を行います。その投てき板を先日、職員が塗りなおしました。春休みの寒い中、丸二日間かかりました。デザインは平成29年度の卒業生（現中学2年生）が総合的な学習の時間に考えたものが基本となっています。鮮やかな青い海と空をバックに浮かぶ気球と満開のひまわり。「デザインを変えたい」という当時の6年生が思いを私に直接伝えに来た時、「学習で使うことができるようにデザインを工夫してほしい」と伝えたとこ、かわいい絵としても、的としても活用できる「○」を使ったひまわりや気球を使ったデザインを子どもたちが考えました。そして、この度、子どもたちの思いが詰まった新しい投てき板の塗装が完成しました。



子どもたちが「思い」をもつ姿、そして、その思いを実現させるために努力する姿が「のびやかに バランスよく 生きる力を育てます」の学校教育目標の具現化された姿と考えます。この新しい投てき板は、この「思いの実現」のひとつです。

子どもたちがあいさつをする姿も学校教育目標の具現化された姿のひとつと考えています。その姿は、少しずつですが増えてきています。3月25日の修了式の朝、通学路を歩くと多くの子どもたちが私を見つけて、「おはようございます。」と元気よくあいさつをしました。3月の代表委員会では、「もっとあいさつをしたい。」「中学生は学校ですれちがった人とあいさつをするのでまねをしたい。」という意見が子どもたちからあがりました。「恥ずかしがっている人がいるので、みんなが笑顔であいさつできるようにしたい。」という意見も出ました。子どもたちの意識も高まっています。多くの子が笑顔であいさつできるように、今年度も指導を続けます。保護者の皆様、地域の皆様には、しっかりあいさつをすることができた子に対して「今のあいさつ気持ちがよかったよ。」「いいあいさつができるね。」などと一声かけていただくと、良さを認められたことでさらに努力すると思います。ご協力をお願い申し上げます。



新しい元号が発表され「平成」もあとひと月になりました。5月から「令和」の時代を迎えることとなります。私たち野庭すずかけ小学校の職員は、「平成」と同じように「令和」の時代にも、子どもたちが毎朝、学校に行くことを楽しみにし、興味をもって学習に取り組み、友達と仲良く遊び、そして、満足した笑顔で下校する学校を目指します。